

収穫果実に発生するリンゴ疫病

研究のねらい

平成元年と平成2年のリンゴ果実に、貯蔵中及び出荷後にかけて、これまでにみられない果実腐敗が多発し、青森県産リンゴの信頼にかかわる大きな問題となった。そこで、本病の原因を解明し、防除法を確立する。

研究の成果

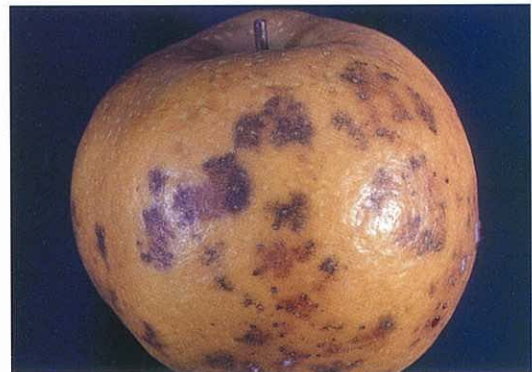
病原菌はフィトフトラ・シリングという糸状菌（カビ）である。本菌はそれまで日本で発見されていなかったため、外国からの侵入が恐れられていたが、この研究により以前から日本に生息していることが明らかとなった。

本菌は土壤中に生息し、秋になると菌密度が高まる。果実での潜伏期間が10℃で10日以上と長い。リンゴのほか、ニホンナシやセイヨウナシにも発生する。

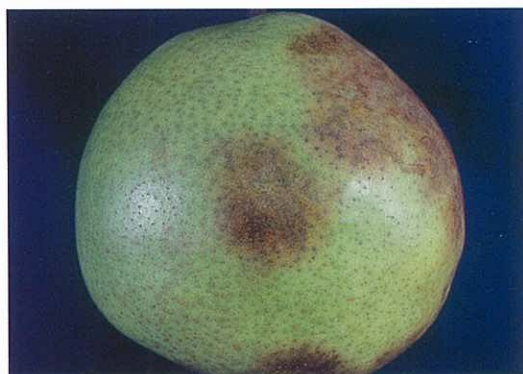
防除の要点は、降雨時に収穫しないとか、収穫時に土や泥水が果実に付着しないように注意することである。



リンゴ果実の病徴（ふじ）



ニホンナシ果実の病徴（長十郎）

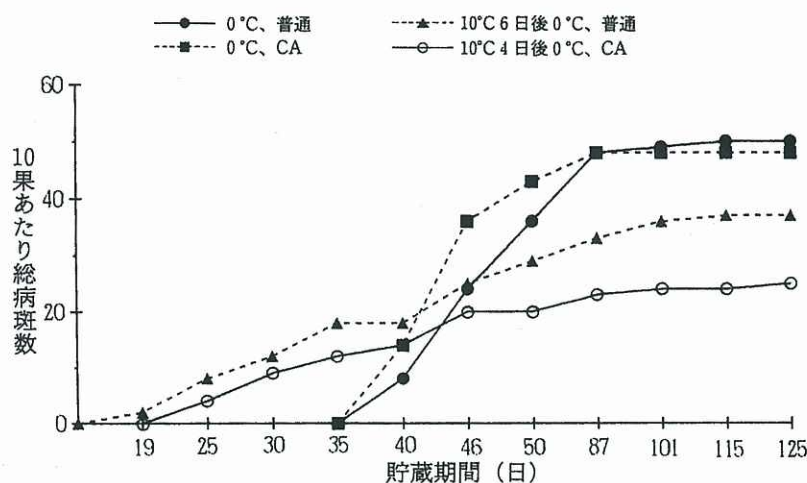


セイヨウナシ果実の病徴（ラ・フランス）

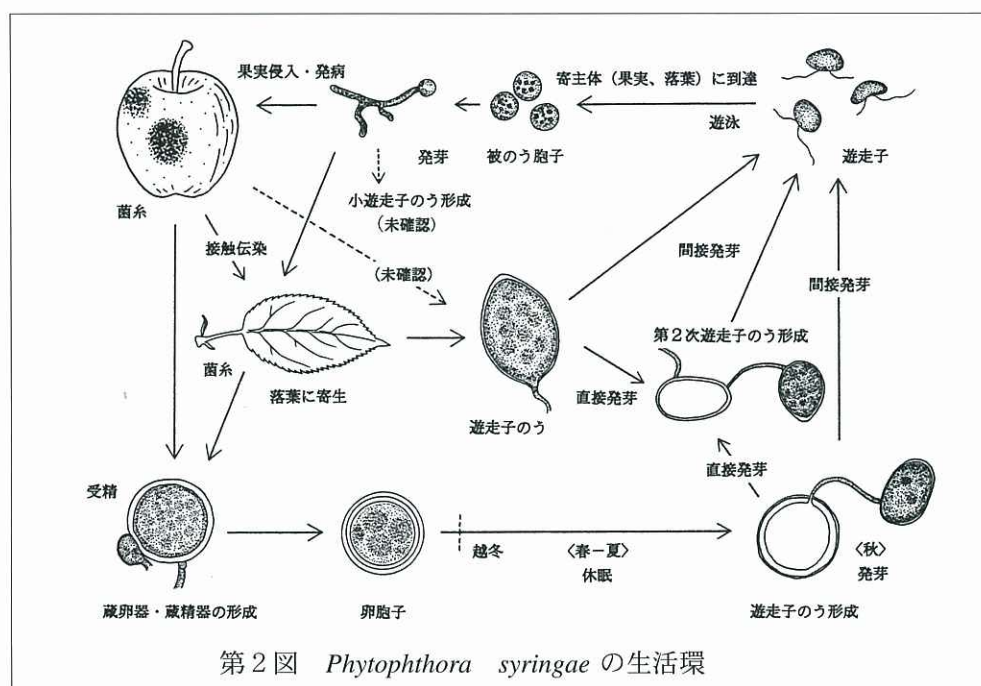


病原菌の菌そう（寒天培地上）

主要な試験データ



第1図 貯蔵条件と果実疫病の発病消長



第2図 *Phytophthora syringae* の生活環

発表資料

1. 病虫部 (1992). フィトフトラ・シリングによるりんご疫病 (収穫果) の発生とその防除対策. 平成4年度指導奨励事項・指導参考資料: 26-27.
2. 藤田孝二ら (1994). *Phytophthora syringae* (Kleb.) Kleb. によるリンゴ, ニホンナシ, およびセイヨウナシ果実の疫病. 日植病報 60: 717-724.
3. 藤田孝二ら (1996). リンゴ疫病菌 *Phytophthora syringae* (Kleb.) Kleb. のリンゴ果実への侵入時間と侵入門戸. 日植病報 62: 79-83.
4. 藤田孝二 (1996). *Phytophthora syringae* (Kleb.) Kleb. によるリンゴ果実疫病の発生生態と防除に関する研究. 青森りんご試報 29: 37-114.
5. 藤田孝二 (1997). りんご果実疫病の新知見. りんご技術 54: 13-16.